

お知らせ

水野薬局（合同会社水野：東京都文京区／代表水野善郎。）は、その持分すべてを日本調剤株式会社（東京都千代田区／代表取締役社長三津原博／東証一部上場。以下、日調。）に譲渡し、今後その経営を日調にお任せすることに関しまして、本日最終合意いたしました。ここにお知らせいたします。

本件は、すでに水野の社員総会、日調の取締役会、双方において承認を得ています。

水野善重が1909年に開局した水野薬局（以下、水野。）は、「医薬分業」のさきがけとして、1964年日本で初めての調剤薬局「水野調剤薬局」を開設しました。以来、1980年代には薬歴のIT化を推進。90年代には、年功序列の廃止、年俸制、長期休暇制度、女性キャリア形成など、会社経営と内部管理体制の充実を図り、また94年には、薬局としては世界で初めてのホームページを開設（<http://drug.com>）。そして2005年からは、ISO9001 の認証を継続的に維持し、お客様に最適な薬物治療のお手伝いとその品質管理を追求してきました。近年においては、自社特許技術を用いたビッグデータの解析から、調剤エラー検出の実用化に成功しております。

周知のとおり、日調は全国に500以上の薬局を構え、その規模において業界首位をうかがう大手企業であると同時に、先見性に富んだ経営戦略からジェネリック医薬品の製造メーカーを子会社に持ち、大変厳しい国家医療財政の中、これからの調剤業務を担っていく東証一部上場企業であります。

長年水野において培ってきた、業務・品質管理ノウハウ、ICT技術、また水野のカルチャーは、健全かつ競争力のある薬局業務の実施案として、日調のこれからの成長を支えていくと考えます。

なお多数の薬局にご採用頂いている薬局基幹システム「Liberty System」は日調がこれを受け継ぎ、これまでと同様の開発、販売、保守を行います。

水野の子会社であるタイムマシーン株式会社のトレーサビリティ・システムである「調レコ」も日調に事業譲渡し、これまた同様のシステム開発、保守が行われます。

なお、タイムマシーン株式会社（<http://tmcn.jp>）は連結を外れ、クラウドベースの環境モニターサービスを専業として業務を続けます。

合同会社水野、代表社員水野善郎のコメントは以下のとおりです：

お客様志向の薬局をめざして、試行錯誤を恐れず、朝令暮改をモットーにアジャイルな薬局業務を追求してまいりました。しかしながら、昨今の薬歴未記載問題に対する業界団体等の対応等に疑問を覚え、社会的にもコンプライアンス責任を持つ公開企業の日調に、【水野薬局】ブランドをお任せすることにしました。大規模オペレーションの一部になることは、真摯で優秀な弊社従業員のキャリアパスを充実させることにもなります。他業界とくらべ、薬局業界はまだ寡占化も進んでおらず、これからが戦国時代です。その時代を勝ちぬく後継者を育てられなかったこと、この点には自責の念にかられております。お客様におきましては、これまでと変わらず水野薬局をよろしく願い申し上げます。